

朝礼 校長講話（6月18日）

先週は、2年生は「職場体験学習」、3年生は「修学旅行」と、数ある学校行事の中でも大きな行事を無事に終えることができました。それぞれの学年の先生方から、みなさんがよくやっていたという報告を受けています。先生は修学旅行についていきましたので、その3日間で、3年生の子たちの笑顔や、気持ちを引き締めるときは引き締めるという切り替えを間近で見ることができました。2年生の職場体験についても、今年は修学旅行と1日ずれていたもので、3日目にいくつかの事業所を回り、お客様に大きな声であいさつしている姿や裏方としてそうじをする姿を見てきました。事業所の方々からも、大変よくやっているというお言葉をいただきました。

行事の日程が示されると、それに向けてみんなが共通の目標を立て、それに向けて学習や準備などを進めていきます。それがあから、今回のようにしっかりできるのだと思います。でも、その行事が終わったら、「終わった、終わった」でいいんでしょうか。それぞれの学年で、行事のあとの学年集会や学級での活動で先生から話があったと思いますが、行事で学んだこと、できたこと、逆にできなかったことが少し見えたわけですから、それをその後の学校生活でどう生かすかが大切だと思うのです。職場体験学習でしっかりあいさつができたんなら、学校生活でも「おはよう！」というあいさつができるはずです。新幹線に乗り遅れないように5分も10分も余裕をもって集合できたんなら、普段の授業でも5分前には教室へ入り授業の準備をすることができるはずなんです。行事ではない日常の生活の中でこれできて、初めて、その行事が成功したと言えるんじゃないでしょうか。行事の終わりは、次の日からのスタートなんです。

さて、そんな話に少し無理やりこじつける話になるかもしれませんが、今日、7時58分に地震がありました。大阪を震源にして強いところだと震度6弱のとても大きな揺れがあったそうです。みなさん、気づきましたか。先生はその時間はいつものように交差点に立っていましたから、揺れたことにはまったく気づかず、携帯電話の「緊急地震速報」の音が鳴ったので気づきました。この時間はちょうど、みんなの登校時間でしたので、約3分の1ほどの人がすでに学校に着いていて、残りの3分の2の人はまだその途中だったように思います。もう学校にいたよ、という人はどれぐらいいますか？（約3分の1）まだ着いていなかった人は？（約3分の2）さあ、問題は、今日みたいな時、どうい

行動ができたか、なんです。

学校では年に3回、避難訓練をしています。小学校でも同じようにしてきたと思います。火災が起きた時は、まず最初に何をして、次に何をして。地震が起きた時は、最初に何をし、次の行動は…。というように、状況に応じた訓練をしてきました。いつもは、授業中に、先生の指示でそういう行動をとっていたと思いますが、地震や災害はいつもそんな時ばかりに来るとは限りません。今日みたいに、ばらばらのしかも教室でないところで起きることだってあるのです。先生たちは、すぐにみなさんの安全のためにかけつけますが、それでも何分か後になってしまいます。それを待っていたのでは大切な命を失ってしまうかもしれません。今日のような地震の時は、まずその場にしゃがみ、頭を手でこうやって抱え、ダンゴムシのように体を丸めます。これを「シェイクアウト」といいますが、今日、学校に着いていた多くの子は、この姿勢をとっていたと、学校にみえた先生方に聞きました。とてもよかったと思います。

またクラスや家で、今日の地震のことについて話をしてみてください。